

# 広報広聴特別委員会 会議録

開催年月日	平成28年10月11日（第5回）			
開催の場所	湖西市役所 委員会室			
開閉会時刻 並びに宣告	開会	午前10時00分	委員長	馬場 衛
	閉会	午後 0時12分	委員長	馬場 衛
出席並びに 欠席議員  出席 8名 欠席 1名  〔凡例〕 ○は出席を示す ▲は欠席を示す	氏 名	出欠	氏 名	出欠
	楠 浩幸	○	馬場 衛	○
	渡辺 貢	○	中村 博行	▲
	吉田 建二	○	神谷 里枝	○
	加藤 弘己	○		
	荻野 利明	○		
	豊田 一仁	○		
説明のため 出席した者の 職・氏名				
職務のため 出席した者の 職・氏名	次 長	尾崎 修	書 記	加藤 紘騎
会議に付した事件	別 紙 の と お り			
会議の経過	別 紙 の と お り			

# 広報広聴特別委員会会議録

平成28年10月11日（火）

湖西市役所 委員会室

湖西市議会



[午前10時00分 開会]

○渡辺副委員長 それでは、おはようございます。ご多忙のところお集まりいただきまして、ありがとうございます。  
それでは委員長、進行をお願いします。

○馬場委員長 皆さん、おはようございます。中村議員がちょっと病院のほうへ行っているということで、本日欠席という連絡をいただいております。御報告をさせていただきます。

それでは、ただ今から第5回広報広聴特別委員会を開会させていただきます。

議事に入りますが、発言は必ず挙手の上、指名に基づきマイクのスイッチを入れ、御発言いただくようお願いいたします。

本日の予定につきましては、次第のとおりでございます。よろしくをお願いいたします。

それでは、早速議事に入らせていただきます。

最初の(1)の議会報告会についてを議題といたします。この議会報告会については、前回のときに、第4回でしたか、そのときには、やる方向で、最終的な結論までは達していませんので、きょうできれば、日程と方法について、いろいろな御意見をいただきましたので、視察も含めて参考にしながら、どういった方向でやるかということまでは、本日確認をさせていただきたいというように考えております。早く会場だけは押さえたいと思っておりますので、まず最低でも日程だけは押さえたいということで、お願いいたします。

順次御意見をいただきながら進めさせていただきますので、よろしくをお願いいたします。

まず、1の開催日程と会場についてですが、方法がまだ決まっていますので、一応、3会場ぐらいは最低押さえたいというように考えております。この辺については、御意見をいただきたいと思いますが、いかがでしょうか。

副委員長から、実行委員会ではないですが、事前に正副議長を交えた打ち合わせをしておりますので、その報告を副委員長の渡辺さんから少し、概要だけお話をさせていただきます。副委員長、お願いします。

○渡辺副委員長 それでは、先般、議会報告会は、最終責任はどこが持つかということで、やはり議会全体で対応すべきではないかということの雰囲気があったものですから、正副議長と常任委員長さん、議運の委員長さん、それで私たち二人入りまして、相談をさせていただきました。考え方としては、やはり議会全体でやるのですけれども、実施の内容については、そのメンバーで二人の気持ちとしては決めてもらいたかったのですけれども、結論が出ませんでした。

いろいろ、意見が出たものですから、その意見も踏まえてこの特別委員会で決めてもらえばいいのではないですかと、それをまた核になる人たちにも報告し、また全協でも報告をするというような形をとっていけばいいのではないですかということで、要するに、この会でまとめてくださいと、こういうような話になりましたので、そういう意味でその前のこの会の意見としては、1つは中心になるというか、従来どおりのやり方を2、3カ所、それから意見交換会的なやつを、前年度の答申のやり方をやる方法と、もう1つは、吉田さんがおっしゃられた、シティミーティング的なやり方でやったらどうか、このような話がありましたので、その辺でもう1回話をしてもらったらどうかということで、きょうを迎えた、こういうことでございますのでよろしく申し上げます。

○馬場委員長 以上が、先日の打ち合わせの中で確認ができたことでございます。報告会については、従来どおり、今、副委員長のほうからもお話がありましたとおり、方法、いろいろありますので、今考えている分については、できれば2、3カ所の従来に近い、内容については再検討が必要かと思いますが、報告会を実施するというので、できればこの件について、まとめたというように考えておりますので、早速ですけど御意見いただければと考えております。よろしくをお願いいたします。

このままでいくと、12月議会が1月の中旬以降までずれ込むという考えがありますので、やれる日程というのが1月の末日からもう2月の初めぐらいまでしかありませんので、その辺でというように考えております。

○渡辺副委員長 この間、議運の会議で私、ちょっと報告させてもらいましたけども、事務局が正副議長さんの日程

をずらっと並べると、1月31日と、2月の1日この2日しか空いてない。もう、これ以外はもうだめだということで、選択の余地がないです。ということで、そこを踏まえて意見交換をするしかないというように思いましたので。1月31日と2月1日この2日しかないということで。

ただ、正副議長さんを除くような小規模なやつは、またやろうと思えばできると思いますけれども、全体でやるようなそういう従来の方式だとこの2日しかない。

**○馬場委員長** この会場については、まだ押さえてはないかね、仮押さえもなしなのですか。

今の段階ですと、正副議長さん、また事務局等の予定でいくと、1月の31日の火曜日、2月1日の水曜日、この2日しか、2日に限っての日程しか現在のところ難しいというような状況でございます。この2日間でどのような形で報告会の内容についてやっていくかということを再度検討したいと思いますが、日程についてはいかがですか。これしかないのですが。

**○豊田委員** もう今、委員長がおっしゃったように、これしかないのであればこれで、とりあえず大規模集会を平日の昼間やるわけにはいかないのですから、夜ということで、2回、しかるべき場所を探してやるしかもう方法はないですよ。それ以外のことをどうするのかというのが課題になってくるのではないですかね。

**○馬場委員長** 今、豊田委員からも御発言いただいたとおり、もうこれしかないということの日程でございますので、この両日について一応、報告会、全体的な会合になろうかと思いますけど、この日程で進めていきたいということで、確認をさせていただきたいと思いますが、よろしいですかね。

**○渡辺副委員長** 吉田さんがいいとおっしゃればいいのですけれども、吉田さんのこの前の意見は確か、シティミーティングを2日間かけて3会場ずつやってはどうか、という御提案をいただいたということですので、そこのところだけ結論を先に出しておかないと、よくないかなと思います。

**○馬場委員長** わかりました、では、今シティミーティングの件について、吉田委員、いかがですかね。

**○吉田委員** 私の私案ということで、以前ちょっとお話申し上げたのですが、シティミーティングを導入したらどうかということで、その場合には18人の議員が3つのグループに分かれて、6人ずつ、そして、1日3会場、2日にかけて6会場をやる。それで、議会報告については、本当にごく限られたことを簡単に行い、あとはテーマを決めてそれに対して市民の皆さん方がそれぞれに意見を言っていただいて、そして市民の皆さん同士のミーティングというか、話し合いをする中で意見をまとめ、そしてそれを議会のほうに反映していく。というような方法が1つの手法としてどうですかということをお願いしました。できれば、そいつをやってみたらどうかというような思いは持っております。以上です。

**○楠委員** 楠です。今、御提案のシティミーティングですけれども、これは議会報告会の方法としてなのか、それとも議会報告会はきちんと私どもの議会の報告をやって、それは別で改めてまた日にちを設定して、2日間、6会場を改めてやるということでよろしいですか。

**○吉田委員** 私の考えたのは、もう報告会とシティミーティングを一緒に行います。それで、報告のほうはごく短く、10分から15分ぐらいになるのですかね、あるいは20分ぐらいかわからないですけど、とにかく簡単に行って、あとは皆さん方から意見を聞くというよりも、シティミーティングをやりながら、市民同士でのいろいろ、意見を交換する中で、ある程度議会にまとめていく。今までは、こちらの主催者側の議会と市民の皆さんからのいわゆる、一方通行というか、そういうような意見だったのですが、今度は市民同士がある程度意見を交換することによって、いろいろな意見があるのだなということを市民の皆さんも感じる中で、それを総括して議会のほうに入れていく。これが今までの市民ミーティングの方法ではなかったかなと、私は受け止めているものですから、そういう具合にしていったらどうかと、こんなことを考えております。

**○馬場委員長** ありがとうございます。吉田委員のほうから、御提案がありました、報告会を兼ねたシティミーティングということで、市民同士も意見交換ができるような状況をつくるのかなというように今、感じておりましたけ

ど。

では、この件についての意見をまとめたいと思いますが、はい、渡辺副委員長どうぞ。

**○渡辺副委員長** 私の意見は、将来的にはこういう方向になっていくのかなと、議会の報告というよりも皆さんの意見を聞き、そこで意見交換をすると、そのような流れがほかの事例を見ても、先進地を見てもそういう流れが多いかなと。四日市市が確か、シティミーティングが中心だったと思いますけれども、私どもの過去3回の議会報告会を踏まえて、今回どうするかということについては、今回は日程も限られているので、従来方式で2日間やっておいて、この特別委員会の役割というのはまた、委員長のほうから相談をしてもらいたいと思うのですけれども、もうひとつの特別委員会は様子を見ると、ものすごくやっているのですね、その特別委員会の活動を。我々の任務というのは一体何かということがちょっと明確ではないのですが、あとで出てきますけど、湖西高校とやろうというのは、下話がある程度してきましたので、それともうひとつ来年度に向けて、次のステップに向けてこのメンバーでこういうことを試行的にやってみて、あ、これでいけるんだなということを確認した上で、来年につなげていくというのも1つのステップとしてはあるのかなということで、この特別委員会で議会報告会をやれば、それはそれで1つ仕事を終えたと言われるかもしれないけれども、議会報告、特別委員会で自分でやってちょうだいよというような意見がこの前もちょっと出たものですから、高校のほうと、もうひとつこれをちょっと試行的にやってみるといっても、段階的なやり方としては、正副議長さんいなくても、これだけでやろうということであれば、やれるかなと思うものですから、それもひとつの選択肢としてちょっとご検討いただけたらと思います。

**○馬場委員長** 今、2つの案というか、この今、吉田委員の提案された部分と従来どおりの報告会を今回は日程も限られているということで、その他に当委員会として、何ができるかということをもつ、2つ案があると思いますから、高校生との意見交換会また、地域なり各種団体との、この特別委員会が出向いて、そういった方々とやれるということも必要ではないかなという、今、渡辺副委員長の発言でございましたですけど、その辺については、少し御意見いただいてまとめていきたいと思うのですけど。はい、楠委員どうぞ。

**○楠委員** 過去、新しく入られた議員さんも、去年入られた議員さんもいらっしゃいますけれども、湖西市議会としてはもう過去2回、議会報告会をやって、同じように先ほど吉田議員がおっしゃられたように、市民の意見を聞く広聴の場が大事だよという話はもう最初のときから意見があったわけですね。そうすると、もうそこをメインに進めてはどうかというようには思いますけどね、わざわざ試行をしなくても、それが大事だということは、皆さん恐らくできていると思うのですね。なので、もう進めてしまえばいいかなというようには、私は思います。

**○馬場委員長** はい、ありがとうございます。はい、神谷委員どうぞ。

**○神谷委員** 私は渡辺副委員長の意見に賛成します。過去2回やりました。2回ともとりあえず報告会の仕方というのは違うやり方でやりましたね。それで、去年が重い腰を上げて報告を短く、市民の会場にいらっしゃった皆さんの意見をお伺いする時間を長くとりましょうということで、去年初めてやりました。いろいろ勉強もさせていただいてきている中で、今回は本当に今、渡辺副委員長が言われましたように、まずはそういった形でやっておいて、この広報広聴特別委員会の本当に大きな目的、役割って何だろう、それから議会報告会の開催の仕方もいろいろな各種団体との意見交換というやり方をやっている市もありました。それから早急に進めたいなと個人的に思っていますのは、やはり私も高校生との意見交換ということです。ですので、先ほど吉田委員は、市民同士の意見交換ということでしたけども、広聴という自分たちの立場から考えたときに、その辺がどのようにうまく治めていけるのかなということもちょっと苦にはなりました。まずは、もう少し自分たちがしなければならぬことを明確にした上でまた、そういった1歩を踏み出していてもいいかなという気はしています。商工会団体とやるとか、障害者団体とやるとか、そういう意見交換をやっているところもありましたので、そういったところだと同じテーマで活発な意見も出てきたりすると思うのですね。それがそこに集まった市民同士で意見交換という温度差もあったり、認識の違いもあったりということもあると思いますので、まずは従来どおりの形で自分たちの広報広聴としての提言なり何なりが求められ

るところへ持っていったほうがいいと思います。

○馬場委員長 はい、わかりました。方法はいろいろあるかと思いますが、報告会になってくると一番委員長さんが、各常任委員長さんが、なかなか議題性をもってくる、話題をつくるのも担当になってくるとと思いますので、その辺については、豊田委員どうでしょうね。従来どおりの報告会になると委員会がある程度、報告内容等についてもウエイトがかかってくると思うのですが、あとの意見を聞く部分については、バラバラにもっと崩してもいいし、やり方はいくらかでもあると思うのですが、委員長という立場でどうですか。

○豊田委員 そうですね、どのみち、まとめるのは、職務上回ってくるのだらうなという感触は持っています。ですから、先ほど吉田委員の新しい提案であったシティミーティング方式というのも、新しい手法として見なければいけないと思うのですが、やはりそこでも報告する以上は、やはりそれなりのまとめをしておかなければいけないだろうし、それについては、やるべき業務は変わらないなというように考えています。ただ、その職務を離れて、湖西市議会の議員の立場からこれまでの流れを見ていて、やはり今の段階でまだまだ市民相互の意見交換まで行くのはちょっと大変かなというというのが、過去2回の感覚です。ですから基本的には、大規模集会を2回ぐらいやっておいて、一応報告会は広範囲な形で開催すると。先ほど、渡辺副委員長からこのメンバーでやったらどうかというお話もありました。私はそっちのほうが新しいトライになるのではないかな。例えば、今、9名おりますけど9名全員でなくても、これを半分に割って4人、4人、まあ4人、5人ぐらいのメンバーで、2日間かけて4会場設定すれば従来やっていた5会場プラス1会場という形になりますので、より市民の皆さんの近いところで開けるかな、呼びかけ方の問題もあって、新鮮味が出せるかどうかというところでは課題が残りますけど、ステップとしては、私として個人的には大規模集会、報告形式2回あと、ここの委員会の活動の範囲の中での意見交換会を4会場ぐらいできたらどうかという感触です。

○馬場委員長 はい、ありがとうございました。加藤委員すみませんね、ひとつお願いします。

○加藤委員 非常に難しいあれですね。両方、一長一短あるので、やり方としては、皆さん感じていると思うのですが、報告は少なくして、皆さんの意見を聞くというような方法で、やり方はそういうようになって、ただ3回かける2日間の6会場でやるのがいいのか、それとも今までどおり2会場でやって、来年以降こういうようなことを試してみるのがいいのか、決めかねていますが、市民の話題とかそういうのは、議員がある程度もう把握しているので、どんな話が出てくるかというのはわかっているので、その地域、地域によって新居と、また大知波とか、そういうところはまた違いますので、その辺をうまい具合に考えて、私はどういう方法でも一長一短あるので、これでやるとなったら一生懸命協力しますので、決めていただければ。非常に消極的なあれで申し訳ありませんけど。

○馬場委員長 はい。荻野委員どうですか。

○荻野委員 私も非常に悩ましいところなのですが、今年度は今までどおり2日やっておいて、シティミーティングもうちちょっと練る必要があるなという気もするので、来年度、それへ向けてみんなで検討しましょう。

○馬場委員長 はい、わかりました。ほかに。どうぞ。

○加藤委員 これって、来年度も引き続き同じメンバーでやるのですか。

○馬場委員長 それはまだ確定は、一応年度末までということで、次の委員会構成も変わってくると思いますので、そこでどうなるかということです。一応、規定では調査終了まで特別委員会となっているのですが、それについては、はっきりとしたところが今、述べられませんけど。

○渡辺副委員長 レジューメに議会報告会開催要領案ということで、資料が事務局でつくってくれたのですが、お配りしてあります。で、きょうはそれを見てもらおうということで、委員長に頼んで分けてもらったのですが、基本的には、議会基本条例に書いてあるこの見直しの組織をつくることができます的な書き方だったのが、先進事例ずっと私、視察に行ったところをもう1回見直してみたら、やはり常設の組織をつくってあるのですねきちんと。今回、私のところは1年だけ特別委員会をつくりましたけども、そうではなくて、特別委員会ではなくて常設の委員会をつ

くって、それは全員でつくる。全員でつくって検討組織は、核になるものは、それはそれでということでそれは、議運でいいのではないかと考えていますけどその案は。私はそれでいいかなと思ってますけれど。それをやっておいて、議会報告会をきちんと毎年そこで決められるようにするということが1点。もうひとつは、それと反省をすることもそれぞれでやってもらう。それとあとは、広報広聴は大事だよということなので、それもその中に包含をします。そういうようなことの組織を来年に向けて、どこかで検討してもらおうと、そういう組織を。検討のきっかけがこの案というように、あとやってもらいたいと思うのですけれども、そんなことできちんと基本条例に基づいた組織をきちんとつくる。それから、議会報告会はそういう中できちんとやれる組織をつくる。というようなことをこのメンバーは、ちょっとそれはおこがましいので、きちんとやってもらうほうがいいのではないかと、これはもう来年に向けて、ことしはことしでこのメンバーで決めて、来年のことは、きちんと続けてやれるようなことを考えてもらったらいかなということ(4)のところで、ちょっと話を出してもらいたいと思いますので。

**○馬場委員長** 先に(4)のところを説明が今、渡辺副委員長のほうから入りましたが、基本的には、あとのほうでも話そうかなと思ってたんですけど、湖西市の議会改革。これ、今なくなったのです。議会改革の組織自体が。常にやらなければいけないというのはわかっているのだけど、実際として、組織としてなくなってしまったので、その中にいろいろな部門があつてと思うのだけれども、平成18年に議会改革の組織をつくった中で、それぞれやればいい話なのだけれど、これがあとのほうへつながっていくと思いますので、今回はちょっと、ここはあとのほうへ置かせていただきます。

それで、今私も考えているところについては、やはり湖西市の議会として報告する部分、これについては従来どおり、まず今回、日程も限られているというところもありますので、できればその方向で、ただし、報告の内容については、過去2回やられた中で、それぞれ短縮し、意見を聴取する時間を持ってきました。その意見を聴取する部分はちょっと検討を加えていければいいかなというように考えております。大きなところだとなかなか発言しにくい場もありますので、そのところで少し分けてもいいかな。これはもうちょっと実際に決まれば、細かいところまで打ち合わせをすればいいかな、というように思っております。できればそのあとに、我々、特別委員会としてこれからできること、年度内ぐらいまでにですね、当面このあとに出てくる、高校生との意見交換会もある程度日程的には、この辺しかないねということまでは、副委員長と少し調整だけはさせていただいておりますが、特別委員会として何ができるかということもひとつ、やってみたいと思いますし、先ほどいろいろな意見が出ましたとおりで、それを2班ぐらいに分かれて、出向いて、各種団体とかいろいろなところともできますので、それはまだあとでいいと思いますので、当面従来どおりの報告会ができて、少し内容を検討できればというように考えております。その辺については、少しこの辺でまとめたいと思うのですけど、吉田委員どうですかね、シティミーティング方式も、今、御意見いただいているのですが、いかがですか。

**○吉田委員** 別に私、シティミーティングに固執するのではないですけどもただ、皆さんの意見を聞くときに、今までは何か会場から御意見ございませんかと言ったときに、それでまたそれを聞く。そうすると一人の方が非常に長く発言されたり、あるいは数人の限定された方が会場を変えても発言があるとか、そういうことがあるものですから、できれば参加している人のできるだけ大勢の意見を聞きたいというときに、グループに分けて、そういう意見をひとつお願いしますよ、といてその中で言ってもらおう。これが今までの鎌倉市とか四日市市のシティミーティングの原点ではなかったかなと思うのですよね。そうすると参加した人が何らかの意見を言う。それでまた、鎌倉市の場合には、そのメンバーを少し変えてまたもう一遍やるというような、最後、もう一遍もとのメンバーに変えていって、そこまで行くと時間が長くなるのですけども、2回ぐらいに分けて、こんな意見がありましたということを最終的に報告して持っていく。そうすれば、今までよりもより多くの人が発言する機会もあるし、また、こんな意見もあったけども自分はこの意見だったよということで、市民同士の意見交換もそこでできるかなと。

特に今回、僕が感じているのは、公共施設の今、見直しをやりましょうということで、市民会館初め、いろいろな



こと、こんな感じで今、見直しをやっていますよと、そういうことをバーンと投げかけたときに、市民がどう考えているか。それから我々議会のほうでも、地域医療の特別委員会を設置して、地域医療はどうあるべきかということは今考えていますよ、という湖西病院のそういう現状なんかも報告することによって、市民の意見がどういう具合に出てくるか、それを結局我々がどうこうするのではなくて、こういうことを一生懸命まとめてその意見を今度は行政にそれをぶつけていくし、また行政も橋渡しをしながら、我々議会としていろいろ研究するには、市民の意見を聞くという意味において僕は、非常に今回は意義が大きいな、こういう思いで、僕は発言したというのが原点です。ですけども、それによって固執するわけではありませんので、どのような方向でも報告会、今回いいのではないかなと思います。

○馬場委員長 今の、吉田委員の意見でいうと前段の部分は報告会だよと、後段の中で、もう少し今までのやり方と変えて意見を聞きやすい、発言しやすい場をつくるという、そこ自体もうちょっとね。

○吉田委員 僕ちょっとメモってあるんですけど、私案として1日3会場かける2日で6会場、3グループに分かれる。これは各常任委員会2名かける3委員会で各6人。内容は、報告は少なく、各会場小グループに分けて意見交換し、意見をまとめる。シティミーティングの試験的導入と。これが僕の以前の発言した骨子ですけどね。そういうことなのです。

○神谷委員 ちょっと確認させていただきます、吉田委員に。今、委員長も言われましたけれども当日ですね、例えばきょうならきょうですけども、まず全体会をやっておいて、全体会が30分なら30分でいいです。あとの1時間を各分科会に分かれて意見交換会をしましょう。そこをその分科会を吉田委員は、シティミーティングという言葉で表現されていますけれども、そういった考え方でよろしいですか。

○吉田委員 それでもいいと思います。これではなければならないというあれではなくて、とにかくできるだけ市民の人が発言する機会を与えて、意見を2つでも3つでもたくさん聞くと。それで、その中で、市民同士で、あんたそういうけれどね、私のときはこうだよとか、ああだよこういうような意見交換がそのところで住民というか参加者の中でできればこれは非常にいいのではないかなと思うのですけどね。そんなふうに感じます。

○馬場委員長 なかなかこれまとまっていきませんので、ちょっと少し時間的にまとめたいと思いますが、皆さんの御意見等を伺いたいのは、議会報告はやろうということは、ほぼ皆さん承知していただいた。その方法について、従来どおりの議会報告会をやろうということと、少し従来どおりより、今、吉田委員が言われたように、前段階で報告を、後ろ段階の意見聴取、意見交換についてはちょっと方法を変えよう。それと、本当に一番最初のシティミーティング、2日間で3会場に分かれて6会場で行おうという、今、3つぐらい出ていると思うのですね。従来と、中身ちょっと変えるのとシティミーティングをやるのと、吉田委員のほうに言われると今、従来どおりの前段階で報告会をして、そのあと意見交換については、ちょっと考えようというこれについては、2日間でいいですか。ちょっと聞きたいのですけど。もし、日程はもう決まっているので、31日、2月1日の2会場の2日間でよろしいですかね。もしそうなった場合。

○吉田委員 それは、2会場の2日間でそれは構わないと思います。ただ、私は1日3会場というのは、各常任委員会から6人ずついるけれども、2人ずつになってそれで6人になれば、一遍に18人が同時に各会場に出て行って、それで2日間で6会場できるなど、こういうことですけどね。ただそういうことでの6会場。

冒頭に挙げたのが、シティミーティングだけにこだわるだけではなくして、こういう前段があったのだけでもそこだけ抜粋してしまった。シティミーティングだけやっている鎌倉市もあったものですからね、それはそれでいいかなと思うのですけど。

○馬場委員長 では、議事のほう1回ちょっと止めさせてもらいますので、ここで暫時休憩ということで。

午前10時37分 休憩

午前10時56分 再開

○馬場委員長 それでは、休憩を解いて会議を再開させていただきます。

休憩時間に意見のほうも少しまとめさせていただきましたので、御報告をさせていただきます。

日程については、議会報告会、1月31日の火曜日、2月1日の水曜日、この2日間で議会報告会を開催させていただきます。会場につきましては、今、会場の関係確認を取れておりませんが、新居の地域センター、また旧湖西については、おぼとの会場ということで、2会場とさせていただきます。内容につきましては、前段では従来どおりの議会報告会、各常任委員長さんの報告会になろうかと思いますがその辺をまとめていただくということと、後段のほうの意見交換会については、従来と少し変えて小グループに分けた、3グループぐらいに分けて、そこで意見を出しやすい、出やすい雰囲気をつくっていただいて、御意見をいただく、意見交換会にしたいと思います。

なお、従来18名、またそれぞれの地域の担当委員さん、議員さんをやっておりまして、分けておりましたが、1月31日、2月1日については、9名ずつの2班に分けてという御意見が出ましたのでその方向でいきたいと考えております。以上については、御了承していただけますでしょうか。御確認をさせていただきたいと思います。いかがでしょう。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○馬場委員長 よろしいですか。では、議会報告会については、詳細については後日もう少し煮詰めていきたいと思っておりますので、会場並びに報告会の方法等については今、報告したとおりに進めさせていただきます。

よろしく願いいたします。ありがとうございました。

それでは、開会から1時間になりますので、休憩、11時10分までです。休憩とさせていただきます。

午前10時58分 休憩

---

午前11時10分 再開

○馬場委員長 それでは、休憩を解いて、会議を進めさせていただきます。

先ほどの、開催日程、会場並びに開催方法についてもほぼ細かいところについてはまた、後ほど詰めればいかなと考えております。役割分担についても、このあとに検討させていただきます。ただ、PRの方法として議会報告会のPRについては、議会だよりが使えないということになりますので、湖西の市の広報誌、そちらのほうか、市役所だよりか、市の広報誌のほうがいいかなと。

今、豊田委員から恐らく市の広報誌は使えないだろうというようなことが御意見ありましたが、議会だよりのほうが、日程的にもう不可能ということになっておりますので、これについては少し当局との交渉等、お願いできればきるところがあればするということで、今この場では、ちょっと決めかねますので、何らかの方法でPRしなければならないと思いますので、その辺については事務局とも検討しながら進めていきたいと思っております。これについては、よろしいですかね。お任せいただいて。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○馬場委員長 それでは、次の(2)の高校生との意見交換会について、議題とさせていただきます。

先日、副委員長の渡辺議員と湖西高校のほうへ出向きまして、校長、教頭先生とのお話だけはさせていただきました。そんな中で、校長先生も日程等、調整した中では、3月の受験、また卒業等々考えると、2月の上旬ぐらいまでには、いかがですかねということで、向こうのほうからも、お話がありまして、ぜひできればというようなお話をいただきました。渡辺副委員長からも少しその辺の説明は、いいですかね。よろしく願います。

○渡辺副委員長 事前に皆さんにも確かお配りしたと思うのですが、私の私案をプリントしたものを体育大会があったときに、体育大会、私行きまして、校長に会って、こういうこと考えているけれども御協力いかがでしょうかという話をしまして、まだ個人的なのだけれども、こんなふうなことを考えていますけれども、ちょっと検討してみ

いただけますか、ということ体育大会の日に渡しまして、後日委員長と二人で校長に会いにいきました。その返事をもらいに。

高校側としては、提案を歓迎するというお答えをいただきました。表鷺津自治会との話し合いもことしやっていて、日程調整が難しいということで、私どもとしては無理なら来年でもいいけれども、校長の話は、無理なら来年でもよいが、ということで私が申し上げたら、年度内ならば、市長選挙後の12月議会前か、年明けなら2月の上旬までぐらいという話を校長と話し合いまして、実施の方法は、2日に分けるか、1日で両方やるか。2日に分けるかというのは、勉強してもらう回、議会を知ってもらうこちらとしては広報ということになります。議会を知ってもらうことと、意見を聞く回、これを同時にやるか2日に分けてやるかという話をしたら、2日取るのは大変だということで、1日でやるならどうでしょうかということで、そういう話で校長は、やってくれるのはいいけど、生徒がどの程度まで議員さんたちと話ができるか心配だ、ということをもう既に心配しておりまして、そういうことなら、どんな質問をしてもらえるかというのは、ほかの市でもやっているの、事例を事前にお示ししてもいいですよ。

それから全員でやるとなかなか話しにくいということなら、グループ方式に分けてもいいですよ。それから、ほかの事例では、公民館の館長が主体でやったところがあるのですね。議員と高校生を集めて、公民館活動のひとつとして。それは公民館長が非常に、コーディネーター役をやって、生徒の意見を引き出す役割をととも果たした事例を私見たものですから、こういう事例もあるので、その辺のところは議会のほうもちょっと相談して、グループ方式に分けたときには、コーディネーター役の議員は誰にするかということを決めておいて、そういうような話がしやすいような雰囲気をつくるように努力をしましょうということを書いて、高校もそこまでやってくれるなら、というような話がありました。

一応、生徒を早く帰して、あるいはこっちのほうは、10から15人ぐらいというそういうメモを渡してあったものですから、その辺の子供を対象にするとすると、午後、学校が空き時間になる、そういう時間でないとということで、そうすると1月中旬から2月の初旬なら日程調整ができそうですということで、追って連絡をしますよという、そういう返事をいただきました。承知はしてもらいたいという点は、湖西高校は豊橋方面が4分の1、それから浜名湖の東側から来る人が4分の1で市民は4分の2で半分しかおりませんよと。それは押さえてくださいよと。テーマ設定の関係ですね。という話をいただきました。そんなことで、とりあえずは、一遍に何もかもやるということは大変なので、委員長は新居高のほうも話をしてくれたのですが、とりあえず試行的に湖西高校をやってみるということで、ことしは取り組みをまずしてみたいという話をしておきました。校長のほうからは、湖西と新居の高校生を混ぜてやるというのもまた、将来的にはいいかと思えますよ、という話もいただきましたけれども。そんなことで、時期は1月の中旬から2月の初旬で返事をいただくと。人数は、10人から15人、生徒会の役員が中心になるかなという感じでした。そういうことで、午後、こっちで、学校のほうへ聞くという手もあるけれどもって言ったたら、こっちで議場を見せてもらって、議会がどういうところかを説明もしていただきたいと。それで、議会のことも知ってもらう意味で、パワーポイントか何か利用して、ちょっと説明をさせてもらおうと、広報という意味で。そのあと、意見交換をやったらどうでしょうかというように、これは私の考えですけど。第1回の議会報告会とき、豊田委員のほうでいろいろ湖西の議会というのを、説明をやったことがありますよね、あのパワーポイントの一部をちょっと修正する形で、パワーポイントをつくれれば、高校生への説明ができるかなと、そんなことで、それはとても短い時間でいいものですから、そのあと意見交換をやるよ。

そんなふうなことで一応、学校側からは、協力をしてくださるという御返事をいただいて、日程はまだ追って連絡をしてくれるという、そんなふうな話し合いを委員長さんと校長、教頭と4人で話し合いをしてまいりました。

以上です。

**○馬場委員長** できれば、往復の部分、学校から来る、歩いてくる人と自転車の人といろいろいるので、できれば車をお願いできないかという話がありました。15人まとめてというと、歩いてくる人も向こうのほうはないものですか

ら、できれば手配していただければありがたい。これは日程が決まらないとこっちのほうの車の空き具合もわからないものですから、そういった依頼はありました。新居高校のほうについても、校長先生に少し話をしてありますので、前向きに取り組んでいただけそうな、ただ、今年度はちょっとえらいということで、新年度に向けてということでお話をさせていただいております。以上です。

今の、高校生との意見交換で、御意見どうですかね。できれば進めたいと。

○吉田委員 確認ですけど、学校側の意向としては、休日とかそういうことを望んでいるわけですね。

○馬場委員長 いや、特別。

○吉田委員 特別そうではないですか。それとあとひとつは、時間については午前中とか午後とか。

○馬場委員長 今、考えておられるのは、先ほど渡辺副委員長が言われたように、テスト週間とか、最終日だとそれで終わるので、そうすると遅くても午後フリーになってしまう。また通常の時間のときでも、午後の短縮時間のときがあるものですから、2時半とか3時からあいている時間がある、そこから2時間取っていただければ十分可能ですと、職員の対応もできるということですので、そういうお話をいただきました。

○吉田委員 そうすると所要時間は一応2時間程度ということですね。はい、わかりました。

○馬場委員長 ほかに、いかがですか。

○加藤委員 生徒会ですか。

○馬場委員長 おそらく生徒会が中心になろうかと思えますし、あと学校のほうからもある程度、選定はしなければいけないかねというような。

○加藤委員 優等生ばかりだねそうすると。

○馬場委員長 そうでもないと思えますけどね。ある程度学校にお任せするということで。

○加藤委員 それはしょうがないね、しょうがないけど300何人いて、10人や15人でもっとやりたい感じなんだけど、難しいね。

○馬場委員長 そうですね。これで終わりではないものですから、先ほど言ったように次回は、新居高と湖西高合同でというのがあるし、もうちょっと今度は出ていって、湖西高校で報告会をやってもいいと思うのです。だんだんそれは、やり方を大きくしていけばいいかなというように考えています。当面意見交換会だけはしていきたいというように思っております。

意見交換会については、よろしいですかね。あとは、湖西高校さんのほうの日程が決まりましたらまた、細かい打ち合わせをしたいと思えます。

それでは、次の各種団体との意見交換会についてを議題とさせていただきます。

すぐ、現段階では、各種団体との意見交換会については、いついつに実行しようというところまではまだいっていません。ただ、今まで進めていく中で、こういったことも大事だねということになっておりますので、少し各種団体の方々の御意見をいただきながら、ぜひ積極的に進めてほしいという声があれば皆さん方と日程等調整しながら、また、議題等についてもいろいろ団体によって違ってきますので、御相談をして進めてはいきたいと思っておりますが、この各種団体についての御意見といたしまして、何かございますかね。

○渡辺副委員長 私ここへ項目を挙げて、ちょっとまずかったかなと思うのですが、各種団体となると要は、委員会が、大体特定されるのですね。委員会が特定されるので、委員会の仕事なので、この会議であらうかどうかなということ、どちらかという(1)のほうで小集会の話をちょっとまだしてなかったと思うので、各種団体は各委員会にお任せすればそれはそれで、基本的なことを決めるのは、議運とかそういうレベルで決めてもらうということ。どちらかという、この場では大集会、大報告会と小報告会で、小報告会のことをちょっと、もし話をしていただければ、してもらったらどうかと思うのですけれどもどうでしょうか。

○馬場委員長 という御意見が出ましたけど、それに対して。豊田委員どうぞ。

○豊田委員 今回の渡辺副委員長のお考えでよろしいかと思ます。

○馬場委員長 よろしいですかそれでは。小集会、いいですか、ここでやる。

○渡辺副委員長 小集会をどうするのか、やるのかやらないのか、やるとしたらどうするのか、その負担が大きいのでやめておくか。

○馬場委員長 いろいろところで情報をいただいて、そういう声を聞いた中で報告を決めればいかなど考えておりますけど、そういったところのいろいろな各種団体だけでなく、組織というか集団もあると思ますので、そういったところの情報をできるだけ上げられるような体制で取り組んでいただければいかなどと思ますけどね。すぐどうこうというのでは、なかなか対応が難しいと思ますので。

○豊田委員 各種団体はそれでいいと思すのですけれども、委員会で適宜やってもらえばいいと、私が言うのは、新居と鷺津でやったときに新所原は新所原の駅前ぐらいとか、あるいは南部のほうでやるとか。そういう集会をこのメンバーでやることの是非、やるのかやらないのか、やるとすればどのような投げかけをするのか、どこか視察に行ったときにやりましたよね。自治会に呼びかけて嫌がる自治会もあるし、やってほしいという自治会もあるので、なので、やってほしい自治会のところに行ってやると。そういう、基本はそういうことかなと思ますけど。

○馬場委員長 わかりました。なかなか自治会も出向いてどうですかと言っても向こうも考える部分もあるので、日常の活動の中で、ここでこういうのをやってほしいよという声をまず、聞いていただいてそこから対応するという方向でいきたいと思ますが、いかがでしょう。よろしいですかね、その方向で。当面、報告会のあとに2会場ほどやりますので、それからでも。

○豊田委員 やるかやらないかということと、やるとすればいつごろをめどに、どういうタイミングで我々の意見をまとめるかというスケジュールだけ決めておかないと、もうどんどん、どんどん時だけが流れてしまいますので、その辺の確認だけはしておいていただくほうがいいのではないのでしょうか。

○馬場委員長 はい。正直言って今、日程でやってほしいと決まったときに、まとまりができていませんので、難しいと思ます。実際問題として。ただ、この報告会が終わったあと、どこかの地域からなかなか出向くことができなかつたから、うちにも来てやってほしいというような意見が多く出たときにその対応は少し考えていきたい。それについては、報告会をやった実績がありますので、いろいろな資料等もできていますので、行けば報告的なもの、また意見交換もできると思すのですが、はい、どうぞ。

○豊田委員 そういう考え方もあろうかと思すけれども、意見交換会をやるのが2月の頭ですよ、それから反応が出てくるのが1週間から10日なりたちますよね、そしたらその段階で3月議会に入ってしまうわけです。我々がいつ、その要望に対応できるかということになると、難しいのではないかなど、さっき委員長さんが最初のほうの言葉に、議会中であっても夜であれば動けるのではないかという、お話が、確かにそういう部分があるけれども、やはり選定してほしくない日程というのが当然あるわけですから、やるかやらないかという基本的な方針は、今の段階で決めておくべきではないかなど。それに対する情報収集は少し、1週間なり10日なりかけて集めて、いつごろというのはまた改めて決める方法もあろうかと思すけれども、どうでしょうか。ちょっとその辺、気になるところなのですけど。

○馬場委員長 はいわかりました。ほかには、この件について。

○楠委員 いろいろな団体においても、総論では議員さんと話をしたいというようにはおっしゃるかもしれないですけど、各論では、いつどこでというようにやるとやはり引くと思すのですね。やはりこちら側から出向いていってお話を伺いたいだけというスタンスで、こちらから御提案させていただかないと、要望というのは、出てこないというように思ます。

○馬場委員長 わかりました。現実問題として、議会報告会後にそういったことをやろうと思すと、ちょっと日程的にきついです、正直なところ。ただ、そういった御意見だけは、集めていただいて、体制が終わったあとできれば、

今度、違った形の中で意見交換会、報告会それぞれ地域に出向いてという方法も考えていかなければいけないかなという思いは持っておりますが、現状の中だと年度内はちょっと厳しいかなという、今、僕が安易に夜なら大丈夫ではないかなというように考えていたのですが、そうやって言われるとなかなか難しいかなというのが実感でございます。どうですかね。難しいよね。はい、荻野委員、どうぞ。

○荻野委員 見送り。

○馬場委員長 見送りですか。

○豊田委員 あくまでトライしたらどうでしょうかね。例えば、2月1日が終わってその次の1週間の間に仮決めをしておいて、受けてくださる自治会を当たってみるとかね、今ひとつ渡辺副委員長のほうから一地域の候補が挙がっていますけど、もうひとつ探せば、自治会であってもいいし、ほかの団体で、いわゆる広範囲な活動をしてらっしゃる団体であれば、いいわけですから、トライをしておかないと、という気がしますけども。

○馬場委員長 先ほどの件、表鷺津入ってのひとつ、そういうことですね。そのほかにもということですね。

○神谷委員 また、確認させてください。まず、1日9人の議員で全体会のあと小グループを31日、2月1日にやりましょう。それ以外に、できればこの特別委員会のメンバーでもう1日分かれるなり何なりして、報告会をしましょうということですね、広報。それを各種団体とでやろうとしているのですか。まったく別。言いましたよね、委員会で任せるといふ。わかりました、では私も今回は無理だと思います。日程的にも。

この委員会でも、特別委員会でもやりましょうということはもう決定ですか。とりあえず。それを言うてはですよ。各種団体云々というのは、それぞれに任せる、それも別々ということなので、先ほど言った特別委員会でもう1日やりましょうというのはまだ、未定ということですか。今、議論中。先ほど私決定だと思ったものですから、ごめんなさい。

○馬場委員長 表鷺津も決定ではない。そういう案があるということで、前向きなものですから、できればそういう方向で、できればやりましょうという、話はあったですけどね。

この小集会はそれになるの、先ほどの小集会は別。今の話ですね。  
ちょっと、暫時休憩させていただきます。休憩とします。

午前11時33分 休憩

---

午前11時36分 再開

○馬場委員長 では、休憩を解いて会議を進めさせていただきます。

(3)の各種団体との意見交換会については、それぞれ常任委員会との関連がありますので、委員会対応ということで、させていただきます。1のところで報告会の開催、今回は2日間やるのですが、それ以外で漏れたところについて、できればこの特別委員会で漏れたところについて要請があればどうか、できるだけ報告できる場所をつくっていただいて、漏れたところについては意見交換会等実施していきたいと考えているのですが、これについては御意見としていかがでしょうか。

ちょっと先ほど小委員会、小集会という言葉として初めて出てきたので、あれだったのですが、(3)とは切り離れた形の中で豊田委員からも積極的にやるべきではないかという御意見もありましたですけど、ほかの委員の方いかがですか。はい、吉田委員。

○吉田委員 僕はこの(3)の次に自分として(2)として、広報広聴特別委員会としての意見交換会、(小集会の開催について)という議論を今してるのだなということで、整理しております。

それで、やったほうがいいなという気持ちはありますが、では仮にやった場合に、どういう団体に働きかければいいのか、いわゆる地域のほうからそういうやってほしいという、希望があったのはやるとなると、もうこれは、今年度はちょっと無理ではないかなと思います。恐らく、もう3月、2月下旬になれば、3月議会に入ってしまうと予算審

議もありますので、みんなも一生懸命になっちゃって、大変ではないかなと思うので、むしろこっちのほうでこの報告会、1番でやったその2会場やった以外のところにこっちのほうで、特別委員会としてとにかく1集会を開こうよと、こういうことでやるかどうかということを決めたほうがいいのではないかなと思います。

もし、それで自治会に持っていくとなると、私の地域の話などで申し上げると、2月に入ると来年度の役員と決算も、1月31日でうちのほうは閉めて、2月中に監査をやって、3月の第1の日曜日がもう総会と、こう決まっているものですから、いわゆる2月というと自治会によっては、年度の切り替えで、なかなか対応がしていただけないのではないかなというような私は感じもします。したがって、いい団体があれば、こちらからそういう団体のところに持ちかけるといいかなと思うけど、そうでなかったら、今回は気持ちはやりたいけども、見送ったほうがいいのではないかなと、こんなぐあいに思います。

○馬場委員長 はい。ありがとうございました。吉田委員からは、特に開催にしてはなかなか時期的に難しいという意見と、やりたい気持ちは結構でているのですが、この地域へ出での開催については、いかがですかね。今回は見送る形でよろしいでしょうか。それとも、積極的に。

○楠委員 自治会さんに頼らざるを得ないような、今の状況というのは事実だと思うのですね。そんな中で今大変な時期、この時期を外すにしてもこの特別委員会の中で、任期中の中で、この小集会をやっていくんだよという定義づけをして、どういうやり方をするんだよというのだけは、また、きょうではなくても結構ですので、継続的に勉強しましょうでどうですか。

○馬場委員長 はい、わかりました。では、暫時休憩とします。

午前11時40分 休憩

---

午前11時42分 再開

○馬場委員長 すみません、それでは休憩を解いて会議を進めさせていただきます。

小集会について、意見が出ておりますが、今年度もなかなか日程的には難しいのですが、この特別委員会としてやるかやらないか、やる方向であるのかどうか、その確認だけをとりたいと思いますので、御意見をいただきたいと思えます。

やる方向でいいですかね。御意見があればあれですけど、機会を向こうからなり、自治会なりの要請なり、こちらから出向く機会がつかれば、やりたいなという考えはあるのですが、それについては、いかがですかね。

やる方向でよろしいでしょうか。時期と場所等の選定もあるかと思いますが。はい。加藤委員。

○加藤委員 この2月いっぱいか3月までにやるのか、やるのはやるのだけど、4月以降でもいいということなのか、3月までにやるというのかやらないのかを決めてもらいたいと思います。

○馬場委員長 今年度中にやるべきというようにお考えの方、おられますか。

いいですか。日程はあれですね、その中でということで。副委員長どうですか。

○渡辺副委員長 私は、その当初の吉田さんのシティミーティング、この大きな報告会、従来方式ではなくて、できるだけ地域に密着した意見をいただくには、シティミーティングを各所でやったほうがいいと思っている。今年は無理だから、試行的にこのメンバーでやってみよう、それはやったほうがいいよというのが、最初の提案なのです。とりあえずは、これ大きな従来どおりでやるのだけれども、将来的にはそういう方向になるのではないのでしょうかというのが、私の意見で、そういう意味で試行的にやるということだけれども、時間的に厳しいねとか相手は大丈夫かねとか、言われるとちょっと自信がなくて、例えば表鷺津の自治会長に話をすると、丸になりそうだなという私の思いがあって、先ほどもちょっと申し上げたのですが、私どもは、これで6月まで任期があるのですよね。なので、やろうと思えば4月か5月に、まあ5月というわけにはいけないけれども、新しい自治会長さんね、自治会長さんも浮足立って4月か3月に大きなイベントがありますけど、そういう自治会長さんの気持ちもあるので、どうかなという

点もあるので、今、ここでできる可能性があれば、年度内というよりも任期の間に1回やるチャンスがあればやるぐらいで、あとちょっと正副委員長に打診、自治会のほうに打診をしてみて、これはやれそうだなと思ったらもう1回相談をさせてもらうぐらいにしておいたらどうかと、今までの皆さんの意見を聞いてそう思いました。

○加藤委員 今、そのために手を挙げたのでしょうか。2人しかいなかったのだから、反対多数でやめればいいのですよ。

○馬場委員長 年度内は。

○加藤委員 そうそう、それで別に考えれば。もう、議事は早く進めましょう。

○馬場委員長 はい、わかりました。では、今の御意見の中で、年度内は恐らく難しいだろうと、賛成していただいた方もいるのですが、難しいということですので、ただ特別委員会、一応任期が6月までですか、次の変更になるまで、その間の中で機会があれば、できるだけ進めていきたいという考えもありますので、この意見については、どうでしょう。賛成していただけますか。

○事務局 特別委員会の任期ですけど、まだ調査終了までということなものですから、常任委員会等は、6月で変わりますけど、この例えば1年、1年で終わるのか、地域医療との関係もありますけど、地域医療も2年だといえれば2年になりますし、この委員会も2年、1年で調査終了が終わりとなれば例えば6月とか、そういった形で、調査終了というのが任期になると思います。以上です。

○馬場委員長 私も、調査終了までと言葉に出したと思いますが、一応調査終了までということになっておりますので、機会を見つけて、また正副委員長と相談しながら委員長の中で相談しながらある程度方向性が出ましたら、また特別委員会の中へ上げて、皆さんで検討していただきたいというように考えており、そういった方向でよろしいでしょうか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○馬場委員長 それでは、そのようにさせていただきます。

次に、(4)の議会報告会開催要綱の案についてですが、お手元のほうに配付させていただいておりますが、事務局のほうで、少し案を出していただきました。いままでやってきたことが、載っているわけでございますが、少し細かいところまで要綱を少し設置していただければということで、今回案として提案させていただいたのですが、本来この特別委員会で確定するにはちょっとどうかというように考えているのですが、できれば、議運のほうでしっかりやって、案として要綱を定めていただけるとありがたいと思うのですが、その点については、議運の委員長さんが見ているのですが、吉田委員、どうですかね。

○吉田委員 議会報告会の開催要綱を議運で決定したらという皆さんの意向であれば、今度、議運のほうで検討をしていきますけども、やはり議会報告会は議会全議員でやっていくということがある程度明確になれば、そういう方向でもやむを得ないかなと私は考えています。

○馬場委員長 あと、細かい内容につきましては、きょうはこの場ではちょっと検討していきませんが、議運の中でも少し、ちょっと意見として出していただいて、それはもう1回そっちで検討してくれということになれば、また特別委員会で細部にわたって検討はしていきたいと思いますが、全体の議会の中の要綱になってくるものですから、議運でできればというように考えていますけれど。

○吉田委員 この特別委員会のメンバーの中にも、それこそ議運のメンバーの方が大勢見えるものですから、その両方の立場で、やはり議運でやったほうがいいのか、あるいは、いや、特別委員会のほうでいいのではないのかといういろいろな御意見もあると思うものですから、その辺もちょっと聞いてもらえたらなと僕は思います。

○渡辺副委員長 ことしのね、今回の内容は、このメンバーでもう報告してこの前も、正副議長さんがいるところで相談させてもらったので、これ報告してやって、あと内容、細部については、ここのメンバーの仕事だというようにして、今年度はいいと思うのです。問題は来年度以降を決めていかないといけないのですが、先ほどもちょっと申し



上げましたけど、基本条例をつくって、基本条例の中のこういう組織はあったほうがいい、これはやったほうがいいとか、いろいろある中で、基本条例の26条に検証見直しの組織はあったほうがいいということで、過去1年やったのですが、この組織は1回つくってもらほうがいいのではないかなと、6月に見直しがあるので、特別委員会というよりも、先進地、亀山市、福知山市、守谷市、塩尻市、松本市、私の行ったところ全部もう1回調べ直して、見てみたらそれぞれ議員全体が組織する委員会というのがあるのですね、議会改革の推進委員会というのが。基本条例推進委員会とか、議会改革推進委員会、全員で全部細かいことまで相談できないので、大体どこも会派があって、会派の代表者で検討する組織をつくって、その検討した内容を全員のところへ報告をして了承を得る。

でも、湖西市はその会派の代表者会議ってないので、それに代わるのが議運しかないのではないのかなと、議運でいろいろ検討した元を全体に報告すると。議運で全部やれというとならば議運もアッパッパアになってしまうので、なので作業部会というか、作業班みたいなものをつくって、作業班は、1つは、広報広聴班。それともうひとつは、運用研究班、この前の1年と一緒だと思うのですね。作業はそっちでやってくれと。いつどのように開催するというのは決めたのであとは作業班でやってほしいよと。そういう組織をつくらないと、いつもこういうふうにもめないかなということで、それを、組織づくりを来年の6月に向けて、議運でちょっとこれをたたき台にして、検討してもらえるとありがたいというのが、私の気持ちというか考えです。

○馬場委員長 渡辺副委員長のほうからの、あれですけど、ほかの。吉田委員、いいですか。

○吉田委員 今、渡辺副委員長のほうからお話ありましたように、議会報告会は議会として開催しましょうと。その運営方法については、議長が定めると、こういうことで、もう基本条例の中にあるものですから、その議長が定めるというその案をつくるのに、こういう特別委員会のほうにそれを委ねるのか、あるいは議運としてそうしてやっていくかということとはまた、議運でも議論するし、またこここのところの皆さんの意見の中も出していただければと、こんなぐあいに思います。いずれにしても、今、渡辺副委員長が言ったように、26条のほうで見直しとか、検証するための組織が議会の中に設けることができるようになってるので、これを何らかの形でもう設けようというような方向で、いったらどうかと個人的には、考えております。また、その辺は議運のほうでもちょっと投げかけていきたいと思っております。以上です。

○馬場委員長 ありがとうございます。ほかには、御意見ございますか。はい、神谷委員。

○神谷委員 まずは、私は議会報告会開催については、この開催要綱で、案ですので、検討するということですが、実行委員会体制をとってやっていったらどうかというのは思っています。それから今、検証ということが出てきているわけですが、本当にそれは必要だというのはわかっていたのですが、前の特別委員会、議会改革、あれが1条、1条何か見直して、もういいよという、最後どういう締めくくりで終わったのかわからないのですが、報告内容が全然頭に残ってないものから、わからないですが、これはやはりいつ何時でも検証等は、検証見直しはやるべきことだと思いますので、本当に議会の組織としてしっかり位置づけていったほうがいいと思います。はい。

○馬場委員長 その検討の場はどこですか、議運ですね。ということで、一度まず議運の中で上げてください。

○渡辺副委員長 これだけはやってちょうだいよというのを議運で、作業部会に示せばいいのですよ。例えばその、インターネットとかいろいろな課題があるので、そういうのを議運で全部やると大変なので、議運でことしはこれを課題にしましょうということで、作業班をつくっておいて、作業班にこれを検討しなさい。それはその時々によって、4年に1回、最終年ね、最終年は1条ずつ全部やり直す必要があるかもしれないけれども、確か田原市がそんなようなやり方だったと思うのですね。議運で指示されてそういう検討を、特にタブレットを導入しようという検討をやって、そういう方向で動いているというのは。そういうような核になるところがないと、どこまでやっていいのかわからないというのがあるような気がするのです。

○馬場委員長 全部こっちに来てやってもね、なかなか。わかりました。そういった形で御意見を出していただいた

中では、やはり一度、議運のほうである程度検討していただいて、それを特別委員会のほうへ御報告いただいて、我々のやるべきことを示していただければと考えておりますので、ぜひ一度、議運のほうで取り上げていただければと思っておりますが、吉田委員長よろしくお願ひします。まず。

○吉田委員 私は、特別委員会の委員として、発言しているわけですがけれども、当然議運のほうでも、この特別委員会のほうからそういう要請とかあれがあれば、やっていくと思ひますし、またあれば、やりたいと思ひます。以上です。

○馬場委員長 それでは、議会報告会の開催要綱については、以上とさせていただきたいと思ひますが、あと議運のほうの検討いかんでまた、皆さん方と内容についても諮っていききたいと思ひますので、よろしくお願ひいたします。

(5)その他の委員会活動についてであります。予算・決算特別委員会のインターネット放送また、湖西市議会のウェブサイト、その他についての御意見をいただきたいと思ひますが、今できることからやろうとするとすると、やはり今、本会議のインターネット放送だけではなしに、これから予算・決算等の特別委員会についてもインターネットの放送の方向へという考えもあるのですけれども、その辺のところについての御意見をいただきたいと思ひますが、広報広聴としての役割の中で、何かできることというのが、一番こういったところが実際に余分なものを使わなくても今、現状でできていますので、議場でできているものをそのまま使えるということでありますので、1歩前へ出るのならこの辺かなというように考えているのですが、この辺についてはいかがでしょうか。はい、渡辺副委員長どうぞ。

○渡辺副委員長 この項目はね、この間議運で出たのでそのまま私、ここに書いておいたのです。そういう意味で、これはどちらかという、お金の問題とか予算の問題とかそういうのにかかわるので、事務局でどうなのかと、一遍聞いてみたいと思ひます。

○馬場委員長 事務局どうですか。経費的にも。

○事務局 現状ですと、そのままそれぞれ質問者をカメラで追うことができないものですから、カメラとしては全体を映して、答弁だけを流すという形ならすぐに合意さえ取れば、すぐにできる状態です。その後、マイクと画像を一緒にセットにできるようなそういうものについては、予算もかかるかもしれませんので、その辺はすぐにはできないといった状況であります。以上です。

○馬場委員長 渡辺副委員長どうですか。

○渡辺副委員長 声だけでもわかれば、すぐできるなら、やってもらった方がいいではないかなと思ひますけど、ちょっと皆さんの意見を聞いてもらえますか。

○馬場委員長 荻野委員どうぞ。

○荻野委員 当然、やるべきだと思ひます。どんな形にしても、可能な限り市民に公開するというのは原則だと思ひますので、やるべきです。

○馬場委員長 会議中ですけど、お昼ちょっと過ぎておりますが、延長させていただきますのでよろしくお願ひします。

ほかにはいかがですか。

○吉田委員 私も、ぜひ公開していく、中継していくほうがいいかなと、このように考えています。

○馬場委員長 ありがとうございます。豊田委員はどうですか。

○豊田委員 同意見です。

○馬場委員長 はい。神谷委員どうぞ。

○神谷委員 私も賛成です。これはやはりこういった広報広聴ということで、斬新的な取り組みになると思ひますのでぜひやってください。

○馬場委員長 加藤委員、いいですか。では、全員やるべきという御意見でございますので、その方向で報告をさせ

ていただきたいと思います。加藤委員どうぞ。

○加藤委員 この前出たのは、政務活動費の領収書をもう全部公開するのだというような意見が出たのですよね。あれはどのようなのですか。

○馬場委員長 ここで、議運で、特別委員会の広報広聴委員会なのでちょっと外れて……。

○加藤委員 わかりました。

○馬場委員長 はい。広報の公開の中ではね、それはもう、結論的には、議運でしょうね。公開部分については。提案はするのはいい。

○楠委員 提案は受けて、議運でまた諮るとい形になるかと思いますが、それでいいと思います。

○馬場委員長 先ほどのそれでは、領収書、政務調査費の今、加藤さん言われたのは。公開……。

○加藤委員 その件については、先回の議運で、かなり出ているので、それはどうするのかなどという感じで質問したわけですね。

○馬場委員長 少し、その回答は出ませんが、いいですかね。そういう意見が出たということで。はい、わかりました。

では、予算・決算特別委員会のインターネット放送については、当委員会としてはやるべきという方向で意見とさせていただきます。

次のウェブサイトについてですが、あわせてその他を含めてですけど、御意見ございますか。

○渡辺副委員長 これも、表題というか項目に上げたのは時間があればこういう話もしたいなということで、ウェブサイトね、皆さん見ておられると思いますけれども、広報広聴のひとつの手立てだということで、関心を持って、広報広聴特別委員会としては、関心を持って検討していかなければならない項目ではないかなというようにも思っていたのですが、きょうは時間がないので。

○馬場委員長 この件につきましてはまた、市民の方々の声を聞きながらというような形になろうかと思いますが。この件については、ここまでとさせていただきます。

その他ですけど、何か。豊田委員どうぞ。

○豊田委員 今回の件にからめて、ウェブサイトへのアクセス数を一度調べておいてほしいと思います。解析の仕方によっては、市内からのアクセスなのか、市外からのアクセスなのかということも解析できる部分もあるかと思いますが。ただ、今、市の対応がどうなっているかわからないので、その辺も確認をしていただいて、一度状況を教えてくださいたいと思います。

○馬場委員長 この件については、事務局である程度、また御報告いただければと思います。

ほかにありますか。よろしいですか。

それでは、今後の予定ということで、報告会の日程等は決まりましたので、できるだけ早い時期に打ち合わせ的には……。

○豊田委員 実施メンバーはどうするか、2班に分けるか、どうするかということ、相談を、ちょっと下話をしておいて、案をつくってこの案でどうでしょうかという確認の会を28日ぐらいの時に。

○馬場委員長 28日には報告しなければいけないですね、開催の決定事項だけは。それと分ける部分と。

○豊田委員 今月末の段階では、この日程で行いますよと。方法としては、議員を2分割して行いますというところまでの報告でもいいのではないですかね。私案ですけども、常任委員会で3人ずつ分化してもらって、その分を特別委員会のほうに報告して、それをベースに組んでいくという方法もあるでしょうし、こちらこの場で各常任委員を分化していくという方法もあるかと思いますが、いろいろな方法もできるし、なるべく巻き込んでいく形のほうがいいのではないのでしょうか。

○馬場委員長 28日の報告が終わってからでもいいですよ。わかりました。

では、28日の全協できょうの報告会の日程と分散した、2班に分けて実施するという報告をさせていただいて、常任委員長さんから、分けた形の人選をいただいてそこで割り振りをさせていただいて、そのあとぐらいに特別委員会を実施して……。

○事務局 すみません。確認ですけど、議会報告会の新居会場と鷺津会場の日程をどちらにするかというのは、今回決めるかどうかというのは、すみません。会場は両方とも使えますので、どちらを新居にし、どちらを鷺津にするかというのを決められますので、もし決められればここでお願いしたいと思います。

○馬場委員長 それでは、休憩中に会場のほうの確認がとれましたので、1月31日火曜日、おぼと、2月1日の水曜日は新居地域センターというように会場を決定させていただきます。事務局のほうでそのように手配をお願いいたします。

あと、2班に分かれてということについてはまた、後日それぞれ常任委員会からの人選の中で決定していきたいと思っておりますのでよろしくをお願いいたします。それでは。

○吉田委員 では特別委員会をやるといいます。

○馬場委員長 28日の報告のあと、常任委員長さんからそれぞれ分かれてやるので、いついつに、日にちは、人をいただいてから、委員会を開催しようかなと思っているんですけど、どっちにしろ、11月初旬ぐらいですかね、上旬まで。

○吉田委員 いいですか、11月の上旬にしないと13日以降は市長選に入っちゃって、バタバタバタこうなって、あれするものですから、第1週か、第2週でも前半ぐらいに持っていかないと、大変ではないかなと思いました。以上です。

○馬場委員長 はいわかりました。

○事務局 事務局です。各常任委員会の勉強会の日程ですが、総務経済委員会が本日、午後3時から、続きまして、建設環境委員会が26日、福祉教育委員会が19日のそれぞれ予定となっております。

○馬場委員長 荻野さん、それではよろしく申し上げます、委員長のほうに。総務はきょう、ちょっと打ち合わせ等をしていただける。

その方向でそれでは、各常任委員会の勉強会があるということで、どっちかに分かれて出していただければいいということになりますので、よろしく申し上げます。

大変、時間のほう押ししてしまいまして申し訳ありません。それでは、10月28日に本日の開催の報告と、できれば人選の割り振りについて案が示せばというように考えております。よろしく申し上げます。

全体を通してのその他ということでございます。何かありますか。

特によろしいでしょうか。

それでは、閉会ということにさせていただきます。

○渡辺副委員長 それでは、大変お昼を過ぎてしまい申し訳ありませんでした。

以上をもちまして、終わりたいと思います。ありがとうございました。

〔午後0時12分 閉会〕

湖西市議会委員会条例第28条第1項の規定により署名する。

委員長 馬場 衛